

事務局から

柏市では、事業者と連携を図りながら、環境に優しいまちづくりを実現するため、事業者との間で「柏市環境保全協定」の締結を推進しています。この協定は、これまでの規制という概念ではなく、事業者の方々に環境保全意識を持ち続けていただくことを目指した紳士協定です。

協定を締結していただいた事業者には、併せて「柏市環境保全協議会」へのご入会をお願いしており、既に市内70社以上の事業者が環境配慮企業(かしわエコカンパニー)としてPRされています。活動内容は、「かしわエコサイト」よりご覧になれます。

■かしわエコサイト

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/ecosite/ondanka/jigyosha/p001024.html>

今年度、柏市エコハウス促進総合補助金が生まれ変わり、柏市ゼロカーボンシティ促進総合補助金として柏市環境保全協議会会員向けの補助メニューを創設予定です。
 柏市環境保全協議会に加入して、企業イメージをUPさせましょう!
 加入希望の方は、必要書類をお送りいたしますので、事務局宛に資料をご請求ください。

お問い合わせ

柏市環境保全協議会事務局
 (柏市 環境部 環境政策課)

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号
 Tel. 04-7167-1695 Fax. 04-7163-3728
 Mail. info-knky@city.kashiwa.chiba.jp



事業所一覧 (五十音順) 令和5年1月現在

事業所名	事業所名	事業所名
青木建設株式会社	株式会社コネク	株式会社トクシキ
昱株式会社千葉支店	株式会社コマダエンジニアリング	株式会社トッパン建装プロダクツ柏工場
株式会社浅野板金	ザ・クレストホテル柏	豊四季工業株式会社
株式会社アトックス	株式会社斎藤英次商店	ニッカウキスキー株式会社柏工場
株式会社EQコンサルティング	三協フロンティア株式会社	パウダーテック株式会社
イチカワ株式会社柏工場	昭和プラスチック株式会社	株式会社花園サービス
伊藤ハム米久プラント株式会社柏工場	昭和ホールディングス株式会社	株式会社日立プラントコンストラクション柏事業所
株式会社稲葉製作所柏工場	新柏倉庫株式会社	株式会社藤井製作所
株式会社 imayama	株式会社正光社柏営業所	富士フィルムヘルスケア株式会社柏事業所
株式会社岩田印刷	大和工業株式会社	株式会社フッカクローム
内山硝子株式会社柏営業所	株式会社高島屋柏店	株式会社ベルキャンパス千葉
SBS 東芝ロジスティクス株式会社北関東支店	株式会社タクミ	株式会社ホンダカーズ柏
株式会社遠藤製作所	武田紙器株式会社	株式会社マツモトキヨシ
大畑運輸株式会社	中央ばね工業株式会社	株式会社丸昭建材
オリエンタルモーター株式会社柏事業所	千代田鋳造株式会社	三井ガーデンホテル柏の葉
柏市再生資源事業協業組合	株式会社DNPテクノパック	三井住友海上火災保険株式会社柏支社
柏市廃棄物処理業協業組合	株式会社東京自動機械製作所柏工場	三井不動産株式会社柏の葉事務所
柏製氷冷蔵株式会社	東京純業工業株式会社	三井不動産レジデンシャル株式会社
川岸工業株式会社千葉第一工場	東京石油興業株式会社	株式会社ミツワ堂
株式会社川和	東京電力パワーグリッド株式会社東葛支社	株式会社ヤマトメタル
株式会社木村屋総本店柏工場	東神開発株式会社	山本産業株式会社
グラバックジャパン株式会社	東積集成材工業株式会社	ヨシザワエルエー株式会社
グリーンテック株式会社	東洋ガラス株式会社千葉工場	三井不動産商業マネジメント株式会社 びびー七柏の葉オベーションセンター
株式会社京北スーパー	東洋鋼板株式会社	リョートーファイン株式会社
京葉瓦斯株式会社東葛支社	トーン株式会社柏工場	
有限会社光化工業所	トータツ株式会社	

かしわ 柏市環境保全協議会
 エコカンパニー通信

No.12
 2023
 April

わたしたちは環境問題に
 真剣に取り組んでいる
 地元企業です。

CONTENTS

- 会長あいさつ P.1
- 柏市環境保全協議会について... P.1
- 事業所紹介 P.2
- ・伊藤ハム株式会社 P.2
- ・株式会社高島屋 P.2
- ・富士フィルムヘルスケア株式会社... P.2
- 環境キーワード P.3
- ・カーボンニュートラル P.3
- ・脱炭素化に向けた取組例 ... P.3
- 事務局から P.4
- 事業所一覧..... P.4

会長あいさつ

2023年度に向けて活動を再開

柏市環境保全協議会 会長
 伊藤ハム米久プラント株式会社 柏工場

皆様には柏市環境保全協議会にご理解ご支援いただきましてありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響で約2年間活動を縮小しておりましたが、社会の規制が緩和されていく状況になり、当協議会としても活動を再開することと致しました。

この2年間で以前にも増して、脱炭素への取り組みで企業を評価する時代になってきました。また、2030年のカーボンハーフ、2050年のカーボンニュートラルも近い将来ではなくなってきました。

そのような中、協議会加入の事業所様も今後の環境活動に対して、多くの悩みを抱えていることと思います。協議会としては、2022年に基盤強化のため規約改定を行いました。2023年は皆様からの成功例やご意見、悩みをご提供いただきながら、情報の共有や提供を行い、柏市と連携しながら、柏市・各事業所様の充実した環境活動が出来るような運営を進めようと考えています。

将来に向けた新たなスタートの年となりますので、加入事業所様のご協力をお願い致します。

柏市環境保全協議会
 について



柏市では、環境にやさしいまちづくりを推進していくため、従来の公害防止協定から、地球温暖化対策等の地球環境保全の取組を盛り込んだ環境保全協定に内容を改め、平成9年8月28日から市内の事業者と協定を結んでいます。

本協定は、柏市環境基本条例の趣旨にのっとり、市と事業者が連携を図りながら環境にやさしいまちづくりを推進していくため、事業者の方々に地球環境に配慮した取り組みを実践していただくことを目的としています。

環境保全協議会は環境保全協定締結事業者で組織され、定期総会等で意見交換を行ったり、このようにエコカンパニー通信等を通じて情報発信を行っています。

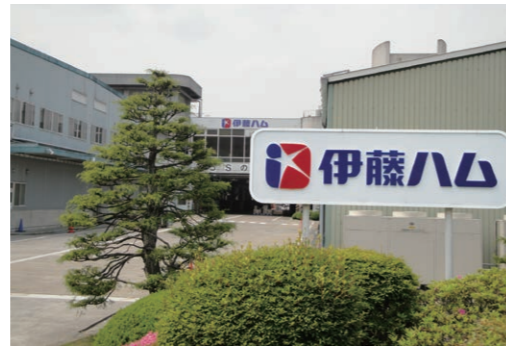
～未来に残そう柏の自然 いっしょに創ろう 環の街、柏～

事業所紹介

伊藤ハム米久プラント株式会社 柏工場 (柏市環境保全協議会会長)

弊社の事業内容は、食肉加工品・調理加工品・惣菜類の製造及び販売、食肉の加工及び販売です。1928年に創業し、1968年柏市に工場を設立させていただきました。「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」という企業理念の下、「地球環境に配慮した事業活動の推進」を行動指針の一つに掲げて環境活動に取り組んでおります。

最近の取り組みとしては、巾着形態商品のパッケージ上部をカットしコンパクトな包装形態に変更することで約30%のプラスチック使用量を削減しました。他に、高効率機器の導入や廃食油ボイラー設置、照明の



LED化などを実施しております。

さて、弊社は2023年4月に会社再編を行い、柏市内の工場が「東京工場」から「柏工場」に名称変更いたします。今まで以上に地域に貢献し、安心・安全な商品を提供できるよう努めてまいります。

株式会社高島屋柏店 (柏市環境保全協議会副会長)

高島屋柏店は1973年に開店いたしました。おかげさまで今年2023年11月に開店50周年を迎えることができます。百貨店として高島屋ならではの特色ある店づくりやサービスの充実により、お客様から一層ご支持をいただけますよう引き続き取り組んでまいります。

高島屋柏店ではお客様とともに、環境保全に取り組んでまいりました。例えば、役目を終えた「衣料品」を回収し地球資源へのリサイクル化、エコバッグのご利用促進、千葉県産の食材による千産千消費フェア、館の空調温度の調整、クールビズなど。どれもお客

様のご理解、ご協力があったからこそ、一緒に取り組むことができました。

毎日の生活のあらゆる場面に密着することができる百貨店であるからこそ、環境への取り組みについても、お客様と日々一緒に積み重ねていけるようにいたします。



富士フィルムヘルスケア株式会社 柏事業所 (柏市環境保全協議会副会長)

私たち富士フィルムヘルスケア株式会社 柏事業所は常磐自動車道柏ICに程近い十余二工業団地内にあり、TX柏たなか駅から徒歩15分とアクセスの良い場所にあります。

当社では、X線診断システム、X線CT装置、MRI装置、超音波診断装置等の開発・販売を行っています。

環境活動は、富士フィルムグループの一員として『富士フィルムグループ グリーン・ポリシー基本方針』に基づき、下記項目について重点的に活動しています。

- ① 気候変動への対応 ② 資源循環の促進 ③ 化



学物質の安全確保、生物多様性の保全

これからも、製品ライフサイクルを通じた環境負荷の軽減と環境配慮製品作りを目指して積極的に環境活動に取り組んで参ります。

環境キーワード eco keyword

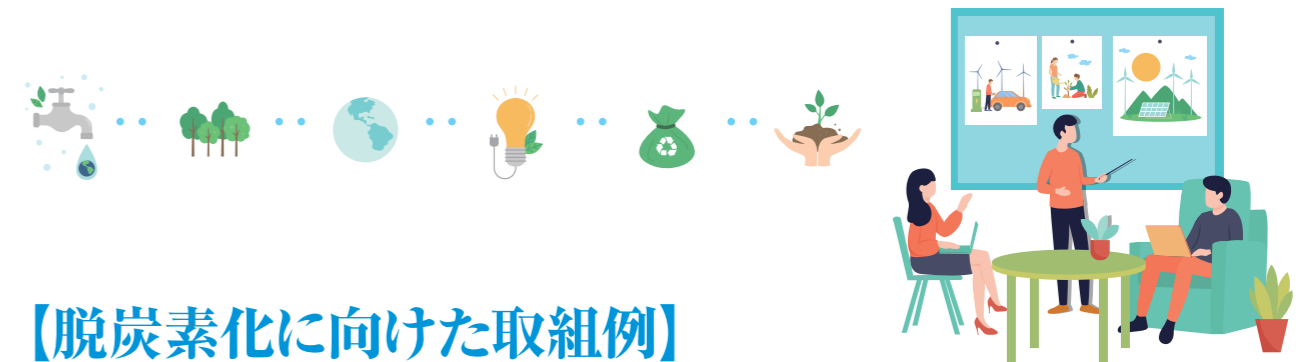
【カーボンニュートラル】

令和2年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

近年、国内外では様々な気象災害が発生していますが、その幾つかは地球温暖化が原因で発生することが研究で明らかになりつつあり、気候変動に伴い、今後、豪雨や猛暑のリスクが更に高まること

が予想されています。日本においても、農林水産業、水資源、自然生態系、自然災害、健康、産業・経済活動等への影響が出ると指摘されています。

気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常生活に伴い排出されています。国民一人ひとりの衣食住や移動といったライフスタイルに起因する温室効果ガスが我が国全体の排出量の約6割を占めるという分析もあり、カーボンニュートラルの実現に向けて、企業の皆様や、国、自治体、国民とあらゆる主体が取り組んでいく必要があります。



【脱炭素化に向けた取組例】 ～柏市役所の取組について～

市内でも大規模なCO2排出事業者である柏市が率先して、温室効果ガスの削減を実施するため、今年度の2月に「柏市役所ゼロカーボンアクションプラン」を策定しました。

このプランに基づき、「照明のLED化」「太陽光発電設備の設置」「公用車の電動化」「ZEB(ゼブ)の推進」「自治体新電力による電力供給」の5つを主な取組として、推進していくこととしています。

今年度の取組としては、照明のLED化として、LED化が完了していない施設の一斉調査を行います。LED照明の省エネ効果は非常に高いため、この調査結果に基づき、照明のLED化を令和6年度以後に順次行っていく予定です。

また、太陽光発電設備の設置に向けて、日射量や屋根の形状等の調査を行い、太陽光発電設備を優先的

に設置する施設を検討していく予定です。

以上は、柏市役所の一事業者としての取組となりますが、今年度は柏市域全体の温室効果ガス削減等の計画である「第三期柏市地球温暖化対策計画」の改定を予定しています。カーボンニュートラルの方針に基づき、国全体の地球温暖化対策計画では2030年度において2013年度比で46%の温室効果ガス削減を目指すこととしていますが、柏市においても国の計画を踏まえ、目標の改定を行う予定です。

計画の改定作業においては、事業者の皆様が温室効果ガスの削減に向けた取組を進めやすくなるよう、各種施策を検討してまいります。

また、今後も事業者向けの補助金の情報があつた際は、柏市環境保全協議会事務局から会員の皆様へ、有益な情報を随時共有していく予定です。